

西洋史概説 I

科目ナンバリング HEA-101
必修 2単位

1. 授業の概要(ねらい)

受験勉強を終えたばかりの一年生諸君に必要なのは、第一に歴史を人類史的な視野でとらえることであり、第二に古典作品をじかに読んで、生の文章に触れることである。細かな知識はネットでいくらでも手に入る。大事なのは、個々の知識を総合して、自分なりの歴史像や世界観を作るということだ。そのための考え方、方法を提示して、思考力を伸ばすことがこの授業の最大の目標となる。

前期の授業では、地球の歴史から始めて人類史を大きな視野でとらえ返し、文明、国家、戦争、宗教、歴史意識といった基本的な事象を、その発生にさかのぼって根本から考察する。それと同時に聖書や叙事詩、歴史叙述や国家理論など、西洋古代に書かれた作品の抜粋を直接読み、一字一句を丁寧に検討する。この両方の作業を通して、受験で覚えこんできた歴史像を作り直していきたい。

2. 授業の到達目標

主題となった基本概念について、自分なりの表現で解説できること
古代史のキーワードを歴史的背景のなかで理解し、説明できること
以上をふまえて、西洋古代史を受験勉強とは違うやり方で描く能力を身につけること

3. 成績評価の方法および基準

2回のミニレポート(25%×2)および期末試験(50%)による
ミニレポートは答案の書き方練習でもあるので、添削して返却し、できの悪い答案は何度でも書き直しを命じる
期末試験の答案は9月の最初の授業で返却する

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用せず、毎回史料のプリントを配布する
参考文献はそのつど紹介する

5. 準備学修の内容

授業終了後にプリントとノートの内容を読み直しておくこと

6. その他履修上の注意事項

毎回の授業で小さな課題を出して答案用紙に書いてもらい、その提出をもって出席を認定する
ぼんやり座っている暇はないので、そのつもりで

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
西洋史を学ぶ意味について・自己紹介を兼ねた私の研究紹介
- 【第2回】 地球と生命の歴史：我々はなぜ地球に生きられるのか
- 【第3回】 ホモ・サピエンスの登場：ヒトはいかにして人間になったか
- 【第4回】 文明の発生と自然環境との関連
- 【第5回】 国家と戦争の起源：人はなぜ戦うのか
- 【第6回】 一神教の起源：『旧約聖書』を読む
- 【第7回】 古代叙事詩の誕生：ホメロス『イリアス』を読む
- 【第8回】 歴史意識の発生と歴史叙述の誕生：ヘロドトス『歴史』を読む
- 【第9回】 古代帝国の系譜：アケメネス朝からアレクサンドロス大王へ
- 【第10回】 ローマの平和と地中海世界
- 【第11回】 ジェンダー視点で見直す古代史
- 【第12回】 ローマ帝国の崩壊とヨーロッパ世界の誕生
- 【第13回】 キリスト教の中世：教皇権と皇帝権
- 【第14回】 ルネサンスと人文主義
- 【第15回】 前期のまとめと期末試験